

# SERVICE NEWS

FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD.

HEAD OFFICE ; SUBARU BLDG.  
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

NO. 200-014      DATE 2006. 10. 10  
REV.              DATE  
REASON

(SUPERSEDES NO.      )  
(SUPERSEDES NO.      )

FA-200 DUKES 社製補助燃料ポンプの部品番号更新に伴うマニュアルの一部改訂について  
(その 2)

DUKES 社製補助燃料ポンプに関する SERVICE BULLETIN No. 200-014 (航空局承認 (航-05-007 H17. 6. 3)、H17. 6. 3 発行) の実施に伴い、FA-200 のサービス・マニュアルの内容に一部変更が生じたので、その改訂内容をお知らせいたします。該当頁を差換えてご使用ください。

尚、今回のサービス・ニュースは、製造番号 12~243 号機 (FA-200-160 型) 及び 244 号機以降 (FA-200-180 型 (FA-200-180A0 型を除く)) 共用マニュアル (P/N:200-010015) のみに適用します。



余 白

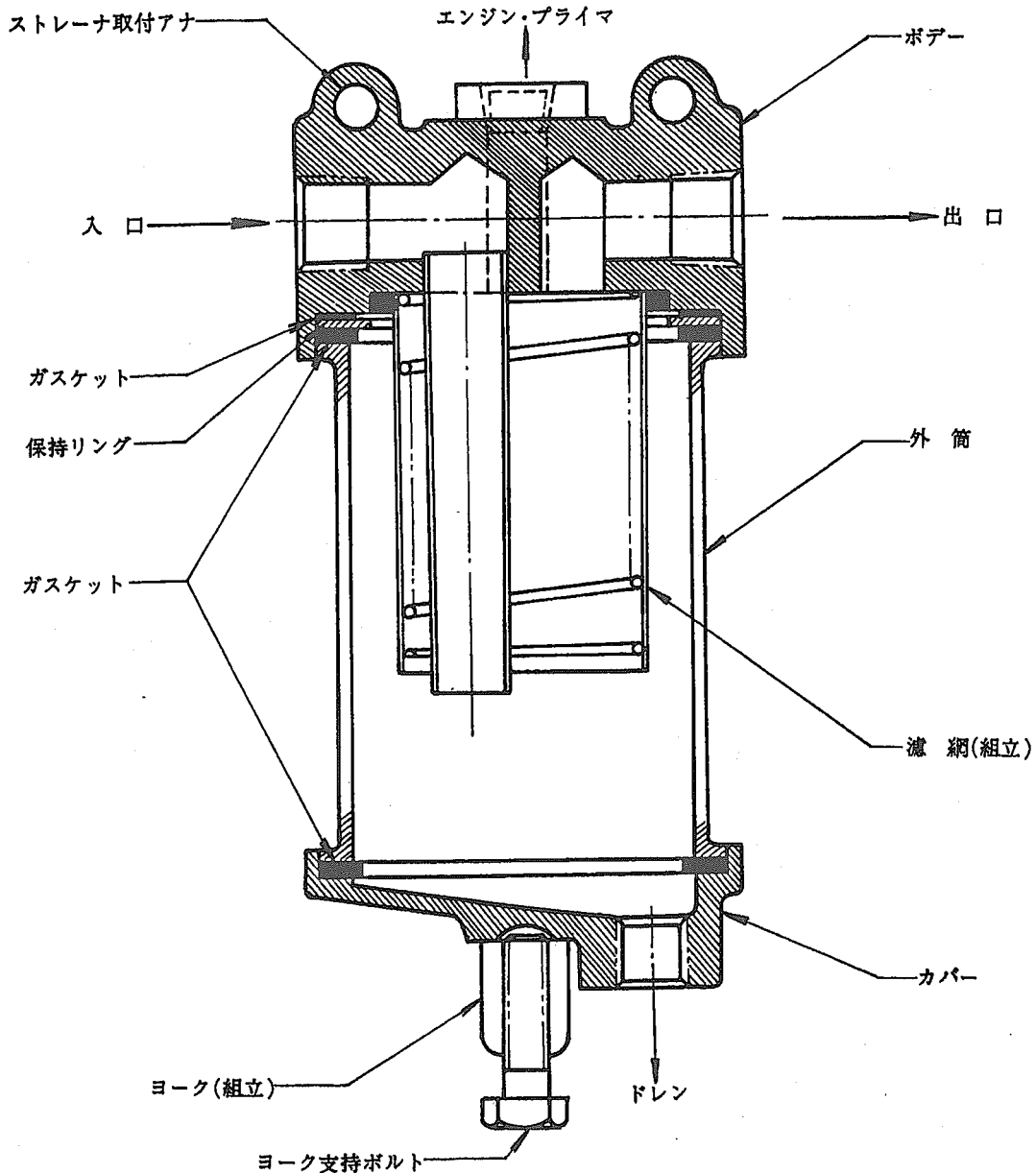


図 6-7 燃料ストレーナ

## 6-8 エンジン・プライマ (FA-200-160)

エンジン・プライマは計器板の下方に装着されている。プライマは手動操作のピストン式のポンプでエンジンの始動を容易にするために使用される。燃料は燃料ストレーナと直結する配管から供給され、各シリンダに直接送られ吸気弁直前の吸気孔に噴射される。

## 6-8-1 プライマの取りはずし

- (1) プライマの燃料入口および出口の配管をはずす。



- (2) 計器板にプライマを固定しているロック・ナットを弛める。
- (3) プライマ・ノブのロックピンをはずし、計器板の裏側へ抜き出す。

#### 6-8-2 プライマの取り付け

取りはずしの逆の手順により取り付ける。

#### 6-9 補助燃料ポンプ

補助燃料ポンプはエンジン室防火壁の右下方に装着されている。エンジン始動時、離陸、着陸、曲技飛行時およびエンジン駆動燃料ポンプ故障時に燃料の供給を確実にするために装着されている。FA-200-160にはベンディックス(476410)の補助燃料ポンプを、またFA-200-180にはデューク・アストロノウテス(4140-00-1NV又は4140-00-7NV)の補助燃料ポンプを使用している。

##### ベンディックス(BENDIX)476410(FA-200-160)

このポンプはプランジャ式で電磁石とプランジャ・スプリングとによりプランジャが作動し燃料を吸込み加圧して気化器に供給される。プランジャのストロークは電気回路のインタ・ラプター・タイプの接点のセットによりコントロールされる。接点は寿命を長くするために不活性ガスを入れた容器に入っている。電気部品が故障した場合はポンプを交換しなければならない。ポンプにはまた点火を「断」にした時、燃料圧を「零」に直ちに戻すのを確実にするためのプレッシャリリーフ機構がある。ポンプの下部にフィルタとマグネットよりなるフィルタ機構がある。このポンプの作動電源は12VD・Cである。(図6-9参照)

##### デューク・アストロノウテス補助燃料ポンプP/N4140-00-1NV又は4140-00-7NV(FA-200-180)

この補助燃料ポンプは14VD・Cの作動電圧で、23~24psiのプレッシャで1時間35ガロンの流量を供給するポンプである。ポンプは防火壁に取り付けられ、冷却カバーで囲みである。ポンプが作動しないとき、ポンプを通り燃料が逆流しないよう内部にバイパスおよびチェック・バルブがある。内部漏洩でモーター部分に燃料が入らぬようにポンプのエンド・ベル部(47, 図6-11)にドレーン孔が2カ所設けられている。一方の(機体に装着した状態でのエンジン側の)ドレーン孔にチューブを接続し、漏洩燃料を機外に排出できるようになっている。他方の(丁度180°反対側に位置する)ドレーン孔は盲栓でふさがれている。(図6-8参照)

#### 6-9-1 取りはずし

- (1) エンジン・カウリングおよび燃料冷却室カバーを取りはずす。
- (2) 燃料入口および出口の配管をはずす。
- (3) ポンプより電線をはずす。
- (4) 取り付けボルトをはずし、ポンプを取りはずす。

#### 6-9-2 取り付け

取りはずしの逆の手順によりポンプを取り付ける。

#### 6-9-3 ベンディックス補助燃料ポンプの分解(FA-200-160)

つぎに示す分解は補助燃料ポンプの洗滌、整備を主目的として述べる。



余 白